

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		園芸学専攻
科目名称 [英語名称]	東洋庭園学特論 I [Special Lecture on Oriental Garden 1]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○
科目コード	642511	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	関西 剛康				学位授与の方針 との関連	修士課程DP1, 2	
授業概要	東アジアにおける各時代と各地域、各利用者の理想郷を表現した庭園文化は、中国大陸で発展して朝鮮半島へと広がり、そして日本へと伝播してきました。そして、日本の歴史のなかでも発展を続けて現在に至っています。この授業では、東アジア圏における日本の庭園文化を取り上げ、その歴史や変遷から、その成立背景となる思想文化や社会状況の理解を深め、高度な専門的知識の修得を図ります。						
関連する科目	「東洋庭園学特論Ⅱ」「造園計画特別演習」						
授業の進め方と方法	基本的に授業は、アクティブラーニング方式によって実施して行きます。毎回の授業構成は以下のとおりです。授業前半は講義をします。【学術・知識のインプット】 授業後半は、グループ学習、ディスカッションや課題発表(問題解決学習、プレゼンテーション)等を行います。【学術・知識の醸成とアウトプット】						
授業計画	<p>第01回 東洋庭園学特論 I の概要説明と心得 講義全体の概要、評価方法について説明する。</p> <p>第02回 飛鳥時代の庭園文化(国家統一における庭園の役割)</p> <p>第03回 奈良時代の庭園文化(国家の政における庭園利用)</p> <p>第04回 平安時代前期の庭園文化(貴族政治とその文化における庭園の形成)</p> <p>第05回 平安時代後期の庭園文化(貴族文化の繁栄と国風文化としての庭園) 古代日本の庭園: 古代国家の形成・発展と庭園文化について学ぶ。</p> <p>第06回 鎌倉時代前期の庭園文化(貴族と武家社会による庭園)</p> <p>第07回 鎌倉時代末期の庭園文化(貴族文化の再興と衰退、そして鎌倉仏教の影響)</p> <p>第08回 室町時代前期の庭園文化(武家社会の台頭と禅宗文化と北山文化による影響)</p> <p>第09回 室町時代後期の庭園文化(応仁の乱後の東山文化による影響)</p> <p>第10回 安土桃山時代の庭園文化(侘び寂びと豪華絢爛な庭園文化との対比) 中世日本の庭園: 貴族・仏教・武家による庭園文化の多様化について学ぶ。</p> <p>第11回 江戸時代前期の庭園文化(幕藩体制下における大名庭園の発展)</p> <p>第12回 江戸時代後期の庭園文化(幕藩体制下における庭園文化の醸成) 近世日本の庭園文化: 総合化と深化する庭園文化の形成について学ぶ。</p> <p>第13回 明治・大正期の庭園文化(近代国家の形成下における庭園文化の革新)</p> <p>第14回 昭和・平成・令和期の庭園文化(国際化する日本の庭園文化) 近代日本の庭園文化: 近代国家形成における新たな利用について学ぶ。</p> <p>第15回 東アジア圏のなかでの日本の庭園文化の特徴と位置づけ 日本の庭園文化の総括と纏めを行う。</p>						
授業の到達目標	東アジア圏の庭園文化の影響の中において、日本庭園が各時代でどのように発展したかについて学びつつ、グローバルな視野で理解することを到達目標とします。						
授業時間外の学修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業で配布する学術論文ならびに専門図書等を授業前に精読しておくこと。 2. 授業後にさらに理解を深めるために再度精読すること。 3. 大学院の授業であるため、事前に参考となる研究資料を準備しておくこと。 4. 予習復習は1時間程度行うこと。 						
課題に対するフィードバック	レポートは評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説をします。	評価方法		発表・研究した内容に関するレポート(100点)			
テキスト	テキストは使用しないが、その代わりに適宜プリント資料を配布する。						
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 『ランドスケープ研究』日本造園学会 2. 『庭園史をあるく』昭和堂 3. 『見る庭園と触れる庭園』淡交社 など 						
備考							